（1）　昭和21年6月1日（除月曜）第三種郵便物認可　昭和24年2月23日 連體 特別扱承認第238号　夕刊　昭和28年1月15日（木曜日）　第2042号

夕刊
いわき民報
発行所 平市田町48 電381・1222
いわき民報社
印刷発行人 田原 登

外科 放射線科
安齋醫院
院長 安齋 徹
副院長 広野 恵三
平市田町電四七五

石橋湛山氏を招き
十九日經濟講演會を開く

平經濟研究会（永山勇吉、萩原巍雄、山野辺義政、正木昌次郎、猪狩四郎の諸氏が世話人）では政界財界の大立物元大蔵大臣石橋湛山氏を招き来る十九日午後一時から平市公会堂「日本間で『新年の課題と今後の日本』と題し経済講演会を開催する、石橋氏は政界においては自由党鳩山派の参謀であり、財界では東洋経済新報社長であり経済クラブ中央会の会長で、講演は世界の経済から日本経済の今後の進むべき方向などを語されるものと見られ聴衆も多数押掛け盛会を予想されている

婦人指導者講習會
來月廿一日から開く

県教委社教課主催の婦人指導者講習会は二月二十一日から二十四日までの四日間郡内二カ所（会場未定）で開催される、婦人の指導者養成を目的として婦人教育上必要な知識と団体運営技術を研修させ婦人の社会的地位の向上を図るのがネライで県社教課指導係員の『婦人教養と社会教育』『婦人学級について』と題する講演、グループ研究、団体運営の発表、レクリエーションなどを行う、郡下の婦人代表凡そ五百名が参集するものと見られ盛会が予想される

衛生指導者講習會開く
廿六日から

平保健所主催の本年度第一回市町村衛生指導者講習会は来る二十六、七、八の三日間午前九時半から平保健所会議室で開き防疫に関して次の講師が指導に当る

『保健所事業計画について』新妻次長『赤痢予防について』臨所長『二十七年度防疫の反省』武内防疫主任『赤痢の症状及び本年度発生見込みについて』菊予防課長『赤痢発生後の看護について』渡辺婦長『赤痢菌検査について』鈴木技師『赤痢と食品衛生について』二股衛生課長『赤痢と環境衛生について』高玉技師『管内水質状況と消毒について』佐藤技師『赤痢と衛生教育の幻燈、紙芝居、実習について』柴田技師

教育研究大會へ
二人が出席

湯本一中教諭目黒義介氏並びに長倉小教諭宮本義門氏は郡内から選ばれ二十五日から四日間西知市教育会館に開かれる全国教育研究大会に出席するため二十一日出発する、研究題は目黒氏『児童生徒をめぐる社会環境の実態とその対策』宮本氏は『平和教育と生産教育』となつている

經理講習會
廿二、三日開く

石城郡下農協新経理講習会は来る二十二、三の両日午前十時から平市堂根町石城農業会館会議室で開き牧支簿の新経理の講習を行う講師は松本県指導連主事、上野主事

農村中堅青年講習會
廿三日から二カ月間開く

石城地方事務所主催の第四回石城郡農村中堅青年長期講習会は来る二十三日から約三カ月間の長期にわたり平市堂根町石城農業会館会議室で開催する、出席は各市町村から中堅青年各三名で農家経営にわたる指導教育を行うもの、日程及び科目、講師は次の通り

【一月】▼二十三日午前十時から開講式『農政諸問題』渡内守（石城地方事務所経済課長）▼二十六日『今後の農村青年の在り方』塩光雄（県教委石城出張所）『農業協同組合の在り方』坂本寛平（県指連石城支部長）▼二十八日『浜通り地方の今後の園芸』荒井敬助（県園芸原種農場長）▼三十一日『果樹栽培について』遠藤修（農業改良課主任）

【二月】▼五日『蔬菜栽培並びに育苗について』壁谷弥伝（県園芸原種農場技師）▼六日同上▼十七日『今後の農業経営について』大和田武男（石城地方事務所農業改良課長）▼二十日『一寸蚕豆菜種栽培管理について』松本勝雄（三阪地区指導所主任技師）▼二十三日『新肥料と土壌改良について』小野正夫（農業改良課技師）▼二十六日『養鶏について』沢田五十郎（農業改良課技師）

【三月】▼三日『新しい農薬の使い方』植田厳（湯本地区指導所主任技師）▼四日『作物病害虫について』草野昇（植田地区指導所主任技師）▼九日『小家畜の飼養管理について』中村政太郎（湯本地区指導所技師）▼十日『牛馬の飼養管理について』太田修一（植田地区指導所技師）▼十三日『酪農経営について』吉田勝記（県農業委員）▼十七日『麦作改善について』木田好次（大野村）▼二十日『石城ネギの栽培法について』鈴木武正（好間村）『私の農業』となつている

市長に珍品贈る
"初春や巳頭龍尾の願をかけ"

競輪だ、地下採掘だ、工場誘致だ等と今年は金運に大いに恵まれるところから市の発展を祝して贈つてくれたのだろう」―との珍品をしばし眺め、得意の川柳をものした〝初春や巳頭龍尾の願をかけ〟この珍木が頭が龍の様に大きく尾が巳のように細く体全体が龍の様だという鑑賞にもとづき龍頭龍尾では幸先悪いから今後段々逆のむくように〝巳頭龍尾〟ともじつたもので、来訪者もヒソヒソ張りの鑑賞でしばし賛嘆している

（写真は初春の贈物）

八代氏の文化講演會
十八日史談會再編成を協議

石城史談会では県文化賞を授与された原島村長八代斌助氏を招き文化賞受賞記念講演会を来る十八日午後一時から平市公民館で開くことになつた、終つて祝賀会を開くなお山森会長に亡きあと史談会の再編成を必要として規約改正、役員改選を行う模様である

レク大會
廿日湯本で

湯本町婦人会は二十日午後二時から公民館「日本間」に開き新年を祝いレクリエーション大会を開く

市統計係で工業調査

平市商工課統計係では二十七年十二月末日現在で毎年行つている工業調査を実施する、調査範囲は製造業を主業とする現場事業所だけ例えば製造して卸売りをするところだけで昨年までの様に小売だけは改選を行わない新発足することになつたが、会長には永山徳一、副会長に野木稔弥、渡辺久の諸氏に決定する模様である

出先機關の人で構成
失對事業所

既報＝去る一日から平市堂の前元平職安所労働課跡に店開きした石城地方臨時失対事業所の第一回運営協議会は八日午後一時から平職安所で開き、人事其の他について打合せたが職員組織は平職災復興事務所、平土木監督所、平職安所石城土地改良事務所など県の出先機関からピックアップした凡そ二十五名で構成されるもよう

矢野博士招き
數學研究會

十九日平二中

平二中では十九日午前九時半から東大教授理博矢野健太郎氏を招き数学研究会を開く、矢野教授の講演終了後研究発表並びに質疑応答を行う

中學校長會
十九日開く

白城中学校長協議会定期例会は十九日午前十時から平一小で開き予算決算、下半期の行事その他について協議する

三万九千人
内郷の人口

内郷の人口は年々増加の一途をたどつているが昨年十二月三十一日現在で三万九千三十二人に達した、男一万九千五百九十三人、女一万九千四百三十九人で二十六年（男一八・七一九、女一八・六三四）から千六百七十九人の増加を示し出生者だけで千百二人一日平均三人強となつている

乘降客調査
内郷町で行う

内郷町役場ではこのほど昨年度の列車の乗降客とバスの乗客の調査を行つたところ列車の乗客が七十九万人、降客が七十八万人で一カ月平均乗降客ともに六万三千人にのぼつており四月が一番多い、なおバスの乗客は四十七万人で七、八月が多く一カ月平均四万人弱となつている

廿六年に比し
やく三倍に
内郷の傳染病

内郷町衛生課では二十七年度の伝染病発生状況の調査を行つていたがこのほどまとまつた、赤痢一二一、疫痢一五、腸チフス二、ジフテリヤ六、流行性脳脊髄膜炎三、猩紅熱八で赤痢健康保菌者は一七一の多きを数えている、赤痢だけで二十六年度に比べると約三倍となり約七〇パーセントが炭住から発生しており原因は共同便所と水道ではないかとみられている

部落館を廻り
防犯座談會

廿一日から内郷

内郷町公民館では二十一日から三十六の部落館を廻り各地域環境を基礎にした家庭防犯座談会を開く講師は赤工興栄氏と警察署二班防犯係長

勞災保險の座談會開く
廿一日から

平労基署では石炭鉱業関係の労使双方代表を集め労災保険に関する座談会を次の日程で開く、講師は横田福島労基局長、商橋労災補償課長など四名で内容は労災保険制度、鉱山保安、労災保険の取扱いなど

▼二十一日午後一時、常磐炭鉱▼二十二日同、大日本勿来炭鉱▼二十三日同、古河炭鉱▼二十四日午前十時、管内全事業所

湯本青年學級
出席率低下
對策と協議

湯本町青年学級では最近出席率がめつきり低下しているので十六日午後六時から学級委員会を開き対策につき協議する、なお三月中学校を卒業する生徒を受講生に吸収する計画についても打合せること

外科（胃腸科）
整形外科
産婦人科
レントゲン科
労災保険指定医
永井醫院
院長 永井勝三
植田町本町43電47
（入院随意）

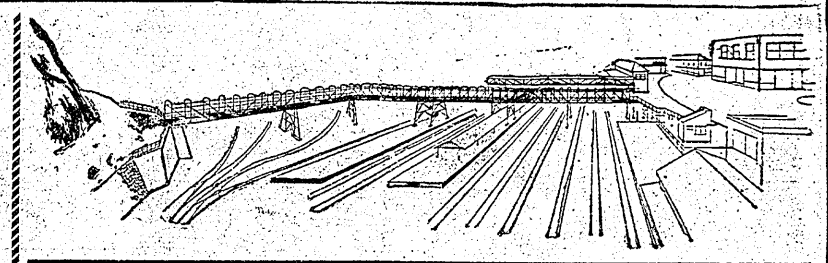
厚生大臣推奨
（大鉢コタツ用最適）
絶對德用 共燃の文化木炭
同名異品あり
㊂印に御注意乞う
各種燃料販賣 有限会社 共榮燃料
平市正月町（第三小学校前）電一二八四

家庭円満
御
リス印
登録商標
品質保證
西洋人参
發賣元
眞心の店
大沼商店
東京
千葉合名
上信倍
三五
25円
35円

新年お目出度うございます
新春のお髪のお手入れにぜヒ当院にお越し下さい
整形外科
外科
内科
金成醫院
金成桂一
平市鎌田町一二電話八二六番

カバンは袋物専門
福山カバン店
平指定商進のチケット利用下さい 平市二丁目六 電三一七

日刊（除月曜） 1カ月金100円郵送126円（週2回四頁建）定価一部（二頁）3円（四頁）6円 （第三種郵便物認可）
いわき民報 夕刊 昭和28年1月15日（木曜日）第2042号 【(2)】



跨線橋愈よ建設
来月着工 六月完成

平市では懸案の平駅跨線橋建設の正式契約を来る二十日、国鉄水戸管理局など関係者との間に行う、工事請負の入札は本月末までに決定し二月初旬に着工、五カ月間（六月末）で完成する予定である

建設費は市負担五百七十七万円鉄道側八百二十五万円の合計千三百九十万円、この跨線橋は現在の平駅構内の西側から八米離れたところに設け幅延四米、延長百三十五・五米のもので駅前交番の附近から幾分屈曲して向側物見カ岡への道路に通ずるもの、高さは八・五米交番の方にだけ昇降する段があり傾斜は三十度のゆるいもので段数は四十一途中踊場（休場）二つがあり自転車をひつぱつて昇降出来るように両側に滑かなコースを設ける便利なもの

この跨線橋の設置により鉄北地区の旧市内通勤者や一般通交者も大工町の踏切りを遠廻りする必要がなくなり城山方部にかよう通勤学生も便利となり一大福音となつている

城山踏切癈止問題
今後新たに折衝する

今度新設される平駅跨線橋は『平駅構内と途中で連絡しここに出開札口を設ける』といった市当局の計画は国鉄側と未だ決定的な交渉を進めておらず、この問題のほかに国鉄側との主張する跨線橋設置の条件である城山踏切りの廃止の両問題に就いては今後、改めて交渉することになり城山踏切り廃止については住民も強く反対しているのでその実情を検討の上適切な解決を講ずる方針である

（凸版は平駅跨線橋見取図）

院病災勞
建設に決る
豫算は三億圓

労災病院の建設促進のため十三日川端県労働部長、青山常磐炭鉱常務、早岡東部石炭鉱業連盟理事長横田労働基準局長、松本湯本町長沼田内郷町長、大河原磐炭労委員長ら関係者が上京、労働省など関係方面に陳情した結果

二十八年度予算に三億円の建設予算もとり平市に優先的に建設することに決まり大蔵省としても充分考慮しているとの快報を得て来た、同行した田畑日鉱常連会長は『県当局でも負担金千五百万円の予算をくんでいるので本年度から継続事業として着手される見透しがハツキリした』と語つた

民労連に加盟
常炭連で協議決定

常炭連第一回地方委員会は十三日午前十時半から平市労働会館に開き、十五組合三十名の代表が出席結成大会附記事項の諸規程、予算等を協議決定、さらに総評の政治偏向政策に強い批判を加え組合運動の民主化を標ぼうする全繊維、日放労、全映演、海員の四単産で組織する全国民主々義労働運動連絡協議会（略称民労連）の結成準備会が二十日開催されるので常炭連も正式加盟することを決定、武藤会長を代表にオブザーバー五名と共に出席することになつた

参院候補に武藤氏
十七日 常炭連で推選か

常炭連では五月の参院議員選挙対策に就き十七日組合代表者会議を開き協議する、常磐労組では去る九日の労住委員会で武藤常炭連会長を推選候補者に決定しているので常炭連としても武藤会長を推せん候補にする模様である

赤井村成人式

赤井村では十五日午前十時から同村二中で成人式を挙行し県教委石城出張所塩荘教係主事の『成人について』と題する講演を聴く

草野村成人式

草野村では十五日午前九時から中学校に成人式を行い成人証書を授与し記念撮影をする、なおレクリエーションを行うほか小学校の校庭に月桂樹を記念植樹する

植田で圍碁ク

植田町の囲碁同好者松本秀次氏（松本医院長）ほか十五名は去る四日公民館で新年碁会を開催したが斯道奨励と親睦を図るため植田町囲碁倶楽部を設立、幹事六名を推薦し幹事長に安田氏が推された

内郷經濟委會

内郷町経済委員会は十三日午前九時から役場会議室に開き綴小学校敷地（六千坪）の整地工事及び賃金山堀割工事の指名請負者につき協議した結果綴小学校四人、賃金山五人と決定入札は二十日ごろ行うことになつた

目標六萬六千貫
本年度産繭で協議

石城蚕業振興会役員会は十三日午後一時から平市片倉製糸工場会議室で開き昨年度実績の報告、本年度蚕繭生産目標六万六千貫の樹立達成方針などを協議、更に本年度からは繭代の百分の一を目主貯金しようという運動を計画展開することに決め、四月中旬ごろ聞く総会で全員に奨励しとりあえず計画によつて本年度に八十万円から百万円の貯蓄を達成しようと申し合せた

場外賣場が好成績
一月競輪 四千八百萬圓賣上

一月の競輪は総売上げ四千八百三十五万八千七百円の好成績で幕をとじた、節節は三千五百三十六万七百円、後節は千、十一、十二の三日間のほかに十二日陛下のため四レースで中止、十三日まで延長実施したが二千三百九万八千円だつた、純益は約三百五十万円程度が、増設を必要とする個所が相当にあるところから次期区長会までに各区毎に立案提出することを申し合せ正午閉会した

炭礦調査班から便り

十四日、諸橋市長、金吉議長宛に目下九州、宇部地区の炭鉱調査を行つている第一班から次の便りがあつた

予定通り五日午後一時博多着、六日通産局と県庁を訪ね七日は折尾と頃方を調査、この間日は日本炭鉱常務小島良利氏によつて非常な便宜を与えられた、八日は鴻島炭鉱（長崎港外の海底炭鉱）九日は大牟田の三池炭鉱調べ、小生（大嶽副議長）ら八名と一行、野崎、野沢、水竹の四で水竹氏とは折尾で別れ只今、内海の船中におります

船舶手數料
値上げ通達

東北海運局小名浜支局では船舶法施行細則一部改正による手数料の改訂を十四日関係各漁協組へ通達した、新料金は一日より適用するもので主なるものは次の通り、カツコ内は旧料金

▼船舶原簿謄（証）本の交付一枚五〇円（一二円）▼船舶原簿の閲覧一回二〇円（九円）▼国籍証書又は仮国籍証書の交付、再交付又は書替え一件二〇〇円（汽船一二〇円、帆船六〇円）【速度】▼新設速度又は全部改造❶汽船及び機関を有する帆船二〇ノット以上五〇ノット未満七〇〇円（四二〇円）五〇ノット以上一〇〇ノット未満一〇〇〇円（六〇〇円）一〇〇ノット以上三〇〇ノット未満一五〇〇円（九〇〇円）❷機関を有しない帆船二〇ノット以上五〇ノット未満五〇〇円（三〇〇円）五〇ノット以上一〇〇ノット未満七〇〇円（四二〇円）一〇〇ノット以上三〇〇ノット未満一〇〇〇円（六〇〇円）▼一部改則❶汽船及び機関を有する帆船二〇ノット以上一〇〇ノット未満三〇〇円（一八〇円）一〇〇ノット以上三〇〇ノット未満五〇〇円（三〇〇）❷機関を有しない帆船二〇〇ノット以上一〇〇ノット未満三〇〇円（一二〇円）一〇〇ノット以上三〇〇ノット未満三〇〇円（一八〇円）

舊正月用の門松は枝松
小名濱區長會

小名浜町では初の区長会を十四日

小名濱で初の公衆電話

小名浜電報電話局では『初の公衆電話』を街の玄関口、小名浜駅前に工費五万円を投じて新設中だつたがこの程完成したのでいよいよ十三日正午より開通した、外装をクリーム色、内側を鶯通色の縞線色に色どつたボツクス型のモダンなもの市内通話専用で料金は一回五円（窓貼は完成した公衆電話）

新進人染物 印半纏 名入手拭 名入前掛 平五電話 馬目染工場

ラジオは勝色

ガス 黒の女学生靴 自家製造靴 既製靴の二本立 平指定商チケツトの店

眼鏡専門 各眼科医指定 玉屋 平市二丁目 電910

平市大通り三丁目角 高野文化堂（西洋樂器部）

放射線・内科 谷口医院 平市 電一〇六五

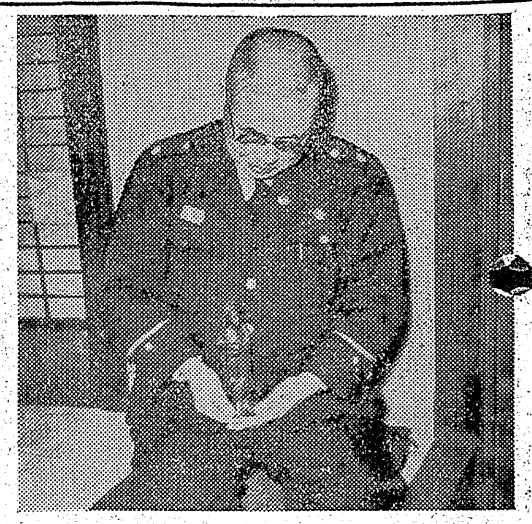
ナショナル ナショナル 電球 螢光灯 乾電池及ケース 発電ランプ アイロン 配線器具 硝子セード類の御仕入は是非弊社へ ナショナル サンヨー 全製品代理店 平市1の47電63 田村無線電機株式會社

備あれば憂なし 停電！生産停止！ヤンマーディーゼルによつて解消する 貴工場は（五馬力）一日只の百圓の燃料でフールに活動する 株式会社 常磐ヤンマー製作所 本店 平市一丁目電 二五 支店 浪江町新町電一六四

どこよりもうまい どこよりも安い 平凡の御菓子 平凡では無料サービスの茶室を設けました 平駅へ御乗降の際は是非お立寄り下さいませ 平駅前 平凡 ★御注文は電話五〇九番へ

御婦人好飲料 特級ブドウ酒・皇國 白ブドー酒 フランス風味 ウイスキーの水準を抜く・皇國 コニアク 御近所の酒店よりお買上げ下さい 皇室御用・皇國葡萄酒株式會社

耳鼻科 咽喉科 高柳醫院 高柳俊明 平駅前（電一一三）



わが家の逸品

七寸の観音像

井上さんが所藏

『観音様の顔は男か女か区別がつかないそうだが』と井上亜消防署長さんは御自慢の魚らん観音を拝ましてくれた

この観音様は井上さんが未だ二十一才ころの青年時代東京は深川寳江裏町の古物屋から買求めたものだそう

だが、当時の値段が七円五十銭だったという、今から四十年以上も前、大正六年ころの井上さんが兄貴の下宿に同居した頃で一カ月間の下宿代位だったそうだ一年にも似合わず観音様に御趣味でも？と尋ねると

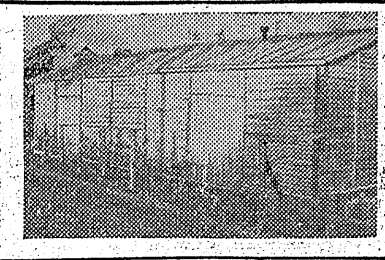
好きなワケではなかったんですよ、欲しくてやっとその主人が売らないというのを賣求めたのですがツゲ彫りの高さ七寸位の立派なもので何んでも大家の作とき、ましたが未だに誰れの作だか知れません、しかし観る人達がいずれも感嘆しているし、私も仏壇の奥にかざって守り神にしているんですよ

なかくの美しさ一温情を感じて自然に手を合せたくなることの出来ない魅力があること、不思議な逸品ではある

（寫眞はその観音様）

縣有地に建築は不可

小名濱で強制取壊し作業



小名浜港務所では小名浜町築町十一縣有地に無断で建築した建物を十四日午前九時半から取壊作業を行った、この建物は小名浜町松の中十六松本秀一さんの所有で去る十日縣有地を標示したハラ線を破壊し更に無許可で便利瓦葺物置小屋（建坪十坪五合）一棟を新築したので直ちにこの撤去方を再三注意したにもかゝわらず工事を強行したと云うもの

松本さんは二年前岡町弁別地内の山林約六十坪を藤原川の災害防除工事の際勝手に潰されて堤防を築かれて仕舞ったのでこの換地について数次の大井川縣議を通じ県並に港務所と交渉したがまとまらなかったので、松本さんが前記の場所約百坪の土地に換地として勝手に建物を新築したもので『県は勝手に土地を潰しておりながらこちらの建物を取壊すとはけしからぬ』と立腹、堤防に潰した土地をどうして呉れるといきまいている

一方港務所では換地として大井川縣議が再三交渉に当ったが換地としてふさわしい土地ならいざ知らず県有地に勝手に新築されてはたまったものではないと説明している（寫真は取壊された建物）

レール五本盗む

田人村大字黒田字天の川一採炭夫窃盗前科二犯菅野定男(こ)は去る二十六年二月中富岡村木戸沢字前原部落から山羊一頭を盗んだのを手初めに、昨年六月中上遠野村天の川炭鉱細島保氏所有のレール五本（時価四千円）を盗み売却した容疑で十二日植田地区署に逮捕され余罪ある見込みで取調中

鼠族驅除の講習會開く

十九日内郷で

内郷町役場衛生課では十九日午前九時半から公民館に鼠族驅除の講習会を開く、講師は平保健所薗玉技師で食餌製造の指導も行う、なお同夜衛生課では綴一円及び宮平太郎地区八百戸にネオメソソを配布し第二回ねずみ一斉退治を行う

第一回御廐　御台境地区では一夜に七百四の收獲があった

定期券購入者わんさ

あすから鐵道運賃値上げ

十三日亡父民生委員力さん(ろ)の遺志により同町民生委員協議会に一千円を寄附した

免許證交附式

平市署では十六日午前九時から会議室で旧臘十六日小名浜町で施行した小型運転免許試験合格者の免許証交付式を行う、同署管内の合格者は出七名で合格率は五十七％

平事件の公判

八月までの日割決る

平事件の公判日が八月まで次の通り決った

▼一月　二、六、二十七▼二月　二、三、四、十六、十七▼三月　二、三、四、十六、十七、二十三、二十四▼四月　六、七、八、二十四、二十五

正月はがた落ち

信保協の利用狀況

県信用保証協会平支部では一月に入ってガタツと融資申込者の少なくなって来ているのにビツクリしている―十二月中は年末とあって中小企業者も背息吐息で金策にかけめぐり同支部で受付けたものが二十九件二百六十七万円だった、このうち融資承認となったものが二十八件、二百六十二万円であった、なお新発足した昨年七月から十二月迄の統計をみると受付は八十一件七百四十六万円に対し▼承認七十八件七百八万円▼拒否一件十万円▼取消し一件十万円▼査定減額三件十三万円▼調査中一件十万円

となっており大部分が融資承認を得ている、新年に入ってからは未だ二件程度でさびしくなったがこれも旧正となれば既々増加するだろうと同支部の話

各列車遅延

吹雪のため

十四日は東北本線沿線の猛吹雪に襲われ常磐線では上り急行二〇四列車（平発七時十一分）が三時間十分遅延して平駅を発車するなど普通列車は十五分内外の遅れを生じダイヤは一時混乱している、通常復帰は不明

交通取締り

ボーイスカウト隊

内郷町内町の内郷病院下の洞門は自転車事故が多いため常磐炭鉱内郷鉱では乗車通行を厳禁しているが小学校通学児童が多いので内町のボーイスカウトが十五日から四班に分れて交通取締りを行うことになった

榮火祭行う

内郷町西区の石城ボーイスカウト第八隊では十四日午後五時から同九時まで内町小学校グランドで松送りの榮火祭を行った、同隊は昨年十二月内郷地区署から同協力者として表彰された優良団体で来る二月十五日には平市に進出し市署と協力で交通整理を行うことになっている

天気予報

十四日

【今晩、明日】北西の風時々やゝ強く大体よい天気で山沿では小雪がチラつく、海上は今晩、明日とも北西の季節風強く風波がある

（15日）

電話線盗難

十二日朝草野村綉谷字不動作地内の磐崎村藤原平保線所＝所長中村弘氏(こ)＝所有の二・六ミリ電話線二百米が切断されたのを平電話局の試験器係が発見した、平地区署で犯人捜査中、電柱により登りべンチで切断して盗んだもの

映畫入場券の抽選を實施

映画館など入場券の半べんを利用して目下県では入場税の成績をあげるため第五回二重のお楽しみ抽せんを実施しているがこれが当ると特等二万円、一等千円、二等百円の賞金がもらえる、この期間は一月一日から末日迄で抽せん日は二月十四日福島市で行われる

廿九冊寄附

湯本町三函函科医千葉普一氏(四)は十三日同町公民館の図書部発展のためにと感謝横光利一全集など二十九冊を寄附した

豊間婦人學級

十六日開講

豊間町婦人会では十六日午前九時から同町中学校講堂で第一回婦人学級を開講する、講師は教委石城出張所社教係主事塩光雄氏で学級運営法、行事計画などについて指導する、会員は凡そ三百名

納税強調へ廣報車廻る

石城地方郵務所税務課では一月から滞納整理強化月間にあたっているので十五日から十七日まで納税強調のため県広報車が石城郷下を巡回宣伝することになった、なお納税に関する街頭映画を十五日夜四倉町、十六日夜植田町で公開する

洋服は高屋　二平

大谷石　井上

ゴム製品なら三倍とくする　弘進　東京弘進　東京ゴム　丸高　平二電649

牛と豚肉　ジンギスカン　藤越　平一電1282

かっぽう　開花

毛布　平専門店会の店　中野洋品店

ブラザー　【最高級品】シンガー　トヨタ　ブスクラム　パイン　石川ミシン商會　平市2丁目　電1232

寒風とともに悪性の『カゼ』が流行しています　『カゼ』を早く治すには　シオノギのムルチン感冒錠を　定価一五錠一〇〇円　三〇錠一八〇円　シオノギ特約店　武田薬局　平市材木町聚楽館前　電話709番

店員募集　一、中学又は商高卒　一、二十才未満の男、女各一名　一、履歴書持参、面談　平市田町　永山酒店　電話二〇七番

磐中　一、日時　一月十七日（土）午後五時半　二、場所　常磐炭鉱健保平寮内　三、会費　五百円　総会事務局　常磐炭鉱三八回同人　平市字星野宮四郎

●営業開始　総ゆる方に御利用願える手軽な融資を始めました　磐洋勧業株式會社　東北財務局受理第一六八号　取締役社長　坂本総僧　平市四丁目一〇（郵便局横通り）　電話二一七番　◎業務の種類　証書貸付　手形貸付　手形の割引　手形の買入　為替担保　金銭貸借の媒介　◎営業の状況　代理業　仲介業　不動産の売買仲介

風にゾクゾク鼻がムズムズ……　呼吸にスーッ……　平薬局　平市十四丁目　電一三四六

放射線科新設　内科小兒科　高久医院　平市駅前電五一三　（入院応能）　高久孝

神戸牛　神戸　平市材木町　電話709番

値段のみの安さにつられて　藤越　小名浜　平市

新春の言葉

（太古の魚を眺めて）

吉屋貞一

またお正月が来た早いものだ、光陰矢の如しなどと少年時代から耳にタコの出るほど聴かされたけれども、別段に効能が無かったせいか人生街道にまごまごして相変らずの貧乏ながら何とか年の瀬を越して新しい年を迎えた。歳月は人生を待たずという一句もあるが、元来が無限に連綿する時という代物は実在しないもので、寧ろ『有限』という条件を通して始めて存在が考えられる次第で時と呼ぶ観念は人間の作った自惚りに過ぎず特別の力も無ければ方向を指す何物も無いであろう。ただ移り変るのは自然界と人間世界の物心両面の動きかと思う。

これまで人類が高等動物の域に達して、霊的な一面を発揮して万物の霊長を自ずと誇っている億億は喜ばしい事柄だけれども今直ぐ霊長の免状を受ける資格が有るか無いか。世界が二つに分れて第三次戦などという同類相喰む惨害に恐怖を起させる現状は充分に反省に値する何物かがあると考えられる。文化は果して人類を幸福に導くか否やの疑問が解消するよう心がけてでもなく、其自身が先祖からの進化性に以存するもので、凡そ脱皮すべき時に臨んで遠慮なく変化して生活する其卓抜な可能性に裏因が有って、見ように依っては人類は今日に於ける直進的な運命をたどって流れたと申すことも出来ようこの新年は私にとって先ずコタツ正月で、東京の新聞は名士の諸般が盛り沢山の色とりどりで面白かったけれど案外に古色蒼然たる面影も覗われて文化日本、民主日本の実態は何処だと尋ねたい場合もあった。

その中で長谷川如是閑氏が日本人の長所短所に就ての論説は流石に第一線にある文明批評家の尊だけあると思わせたが『時こそ人生の好番判者だ』と中学生の作文に感を生やしたような天野貞祐氏の筆陣は哲人として聊か底の浅い感くしのような水中生活から鮭に似た陸上に移行する過渡時代に魚と人間の中間動物のコーラカンス魚と呼ばれるもので、この地球創成以来初めて現われた脊椎動物たる原始魚類から未来のほ乳動物が派生したという学説に依れば、既に二億万年以前に一応は滅亡したわけだけれども、大変に珍らしい例として世界の一隅に存続したものと察せられる。

私は手とも足ともひれともつかぬ突起を持つ異様な大昔の魚の姿を眺めて何億万年か昔にお玉じゃくしのような水中生活から鮭に似た陸上の硬息を始め四足動物に変つて更に木に登る猿に類する猿猩を経て二本足の類人猿まで、潤き付けた千変万化の歴史は進化が変化の可能性に富む人類に与えられた実証になるだろうと思った。一九五三年の新年は日本が独立後の最初の年頭を意味するものと思うから名実共に独立を完備することが急務で、国民のための民主日本は世界人類の福祉のためにも片棒かつぐだけの信念と行動が望ましいのである。新日本は改善すべきものが少なくないから、変るべき時代を迎えて皮相的な文化に陶酔せず、反務を審めて堅実な前進を続けなければ世界各国の進運に互して間に合わない、但し一歩では足らぬ、二歩三本とスピードある前進を目標にしたい。

東北地方て只一人
白土氏正教授に
あす昇格記念素謡會

白土セイ、葵上長谷川美津子、笠の段永嶋綾子

趣味の人平市田町生れ白土謙伯氏は今回謡曲喜多流の正教授に昇格したので同氏の舞台改造が落成したのと共に記念素謡会を十五日午前九時から白土稽古舞台において開くことになった、喜多流本部ではこのほど全国から初めて正教授を三人選んだもの、うち白土氏が入選したもので東北では同氏が只一人であり、石城素謡会のためにも方丈の気を吐いたものである当日のプロは左の通り

◇素謡番組　翁、月宮殿、田村羽衣、二人静、鉢木、安宅、猩々

◇独吟　羽衣三井由江、船井慶野内繁子、東北盛藤シゲ、鉢木

解説
米の自由販売

『米の自由販売』ということが最近消費者間にあやまり伝えられている様だが、これは一般消費者には何等関係なく生産農者である農家と米の集荷機関（農協組又は一般集荷業者）との間の問題である

各農家が供米完遂後自分の好みの集荷機関（農協組、一般集荷業者）に依頼して政府に米を売る、又は集荷機関が農家から買集めて政府に売るという二本立ての特別集荷制度を称して自由販売というもので、これは従来の超過供出前が全然知られず手続きも簡単でスグ現金が頂戴出来るという点に農家の魅力がある様だ、

県ではこの自由販売を大体十五日ごろから実施する筈向であるが現在行われている超過供出は手続きも面倒で以前には供出の対象にがどの程度になるか未だハッキリしないが平食糧事務所の話によると一農協組で集荷している超過供出の価格は石当り一万円でこのほか政府から四百円の割増し金が来年度は八十九円だったものが九十五円五十銭にハネ上った消費者の間には自由販売をハキ違えて、食い込みしている者が多く関係官庁ではこの点心配しているがそもそも農家では超過又は自由販売で政府に受渡す値段が百四円とヤミ米程度になり、こんなことから販売業者の中には受配辞退者分の米を確保してカゲから自由販売するということも行わないとは云えず、どこの飲食店でもスキな料理がたべられる世の中になって来たゞけに米の統制形態はこの辺から崩れ出して来たとみても差つかえないワケだ（O）

樂器を設置
湯本一小て

湯本一小では精神衛生教育活動の一環として情操教育の万全を図ることになりこのほど大太鼓一、小太鼓一、トライアングル二、タンバリン二、ミハルス三〇、半音符鉄琴五、半音符木琴一〇、銀製竪笛二二、ハーモニカ六、シンバル一、チャイム一など多数楽器を購入した、これで毎日の授業、方部音楽会、クラブ音楽会活動が充実するので父兄の期待も大きい

圍碁大會
十八日湯本

湯本町公民館のレクリエーション部主催の囲碁大会は十八日午後二時から同館日本間に開く

講演會開く
十六日湯本で

湯本町誌友相愛会主催の生長の家講演会は十六日午後一時から公民館ホールに開く、講師は本部派遣の加藤舜太郎氏で演題は『本当の幸福について』

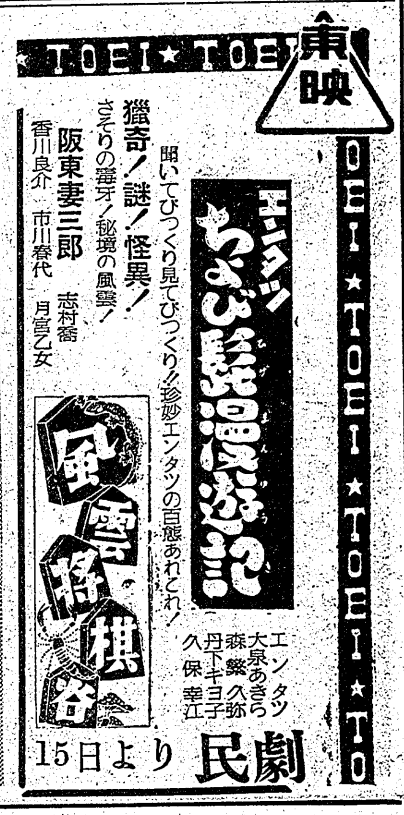
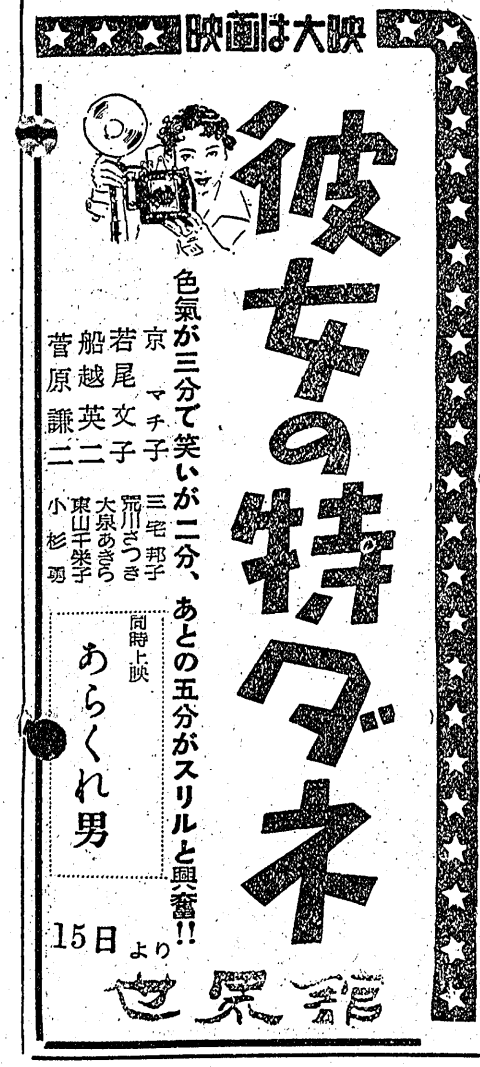
湯本卓球大會
十八日に開く

湯本町公民館のレクリエーション部主催の卓球大会は十八日午前九時から一中講堂に開く、参加資格は学生、壮年級選手を除く一般町民で申込み締切は十五日となっている

◇仕舞　西主毋三井由江、葛城野内繁子、羽衣巻苑朋子、船井慶長岡福子、高砂永嶋綾子（寫真は白土氏）

いわき俳壇

鈴木靜枝

伺ほ北に雪の夜汽車の妹さかり
汝と幾夜へだてし距離に吹雪けり
まろみ寝る旅の衾よ蹴らることなし
みちのくの後三年てふ駅探雪
スキー跡若きが夢に交叉せる
雪晴るゝ早やくも堆肥野に積まれ
ソリの鈴鳴らしみするに旅愁さらふんでみがみちのくの言かく素朴
立石寺五句
大氷柱石の御苔にすがり垂る
供養塔凍りて車回らざる
ひゞき澄く泉の音の雪の中
奥の院雪囲ひして廻の固し
奥院の奥の雪女雪踏むべきや
妹みなみ南向き寝む吹雪く夜は

艶麗　木暮實千代
時代劇初出演　若原雅夫
重厚　山村聰
大庭秀雄時代劇第一回監督
15日より二本立
常磐炭礦ロケ作品！
3大スター初顔合せの華麗戀愛映畫!!
高峰秀子　羽信子　上原謙
篇子巻後夕の
平館